

平成26年度予算に係る再評価について

【公共事業関係費】

事業区分		再評価実施箇所数					再評価結果				
		一定期間未着工	長期間継続中	準備計画段階	再々評価	その他	計	継続		中止	評価手続中
								うち見直し継続			
ダム事業	直轄事業等					1	1	1			
合計		0	0	0	0	1	1	1	0	0	0

(注1) 直轄事業等には、独立行政法人等施行事業を含む

(注2) 再評価対象基準

一定期間未着工: 事業採択後一定期間(直轄事業等は3年間、補助事業等は5年間)が経過した時点で未着工の事業
 長期間継続中: 事業採択後長期間(5年間)が経過した時点で継続中の事業
 準備計画段階: 準備・計画段階で一定期間(直轄事業等3年間、補助事業等5年間)が経過している事業
 再々評価: 再評価実施後一定期間(直轄事業等3年間、補助事業等5年間)が経過している事業
 その他: 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

平成26年度予算に係る再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【ダム事業】

(直轄事業等)

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	再評価の視点 (投資効果等の事業の必要性、事業の進捗の見込み、コスト縮減等)	対応方針	担当課 (担当課長名)
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				
			便益の内訳及び主な根拠						
設案ダム建設事業 中部地方整備局	その他	2,094	3,545	1,593	2.2	<p>・豊川の洪水は、台風に起因するものが多く、破堤による氾濫、氾濫地区等での浸水、内水等により人家や農作物等に多大な被害をもたらしてきた。戦後最大洪水流量を記録した昭和44年8月洪水では、全壊流失7棟、半壊・床上浸水919棟、床下浸水838棟などで甚大な被害が発生している。また、昭和49年7月、昭和54年10月、昭和57年8月にも大きな被害が発生しており、近年でも、平成3年9月、平成12年9月、平成23年9月などに浸水被害が発生している。</p> <p>・豊川では、昭和48年から平成22年までの38年間において、32回取水制限が実施されている。このように度々取水制限が行われ、水道用水の減圧給水や工場の生産調整などが行われたり、農作物の発育不良などの被害が生じている。</p>	継続	水管理・国土保全局 治水課 (課長 山田邦博)	